

「東住吉区将来ビジョン（2026-2030）（案）」にかかる
パブリック・コメントの実施結果について

1 実施概要

（1）意見の募集期間

令和8年1月22日（木曜日）から令和8年2月24日（火曜日）まで

（2）募集方法

送付、ファックス、電子メール、持参、大阪市行政オンラインシステム

（3）閲覧・配布場所

- ・大阪市ホームページ
- ・東住吉区役所（大阪市東住吉区東田辺1-13-4）
- ・東住吉区役所矢田出張所（大阪市東住吉区矢田6-7-12）
- ・大阪市役所市民情報プラザ（大阪市北区中之島1-3-20）

2 実施結果

（1）意見受付件数

受付件数 2件

（2）受付件数の内訳

- ・提出方法（件）

送付	ファックス	電子メール	持参	行政オンラインシステム
0	0	2	0	0

- ・年齢（人）

19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代
0	0	0	0
50歳代	60歳代	70歳代	無回答
0	1	0	1

- ・住所別（人）

東住吉区内	東住吉区外	無回答
0	1	1

3 ご意見の要旨と東住吉区の考え方

お寄せいただきましたご意見の要旨と当区の考え方は、別紙のとおりです。

なお、ご意見につきましては、趣旨を踏まえて要約しています。

また、ご意見以外の情報提供等については掲載を省略させていただいております。

「東住吉区将来ビジョン(2026-2030)(案)」に対するご意見と東住吉区の考え方

No.	ご意見の要旨	東住吉区の考え方
1	<p>区内で外国人の転入者が増えている印象があり、言語や生活ルールの違いから共生に不安を感じており、地域の安心・安全を保つ観点で転入してくる外国人の対応を考えるべきでないか。</p> <p>また、住みやすいまちづくりを目指すうえで、ゴミが落ちていないきれいなまちにするのがいいのではないか。まちの美化と治安の良さは相関関係があると考えており、ゴミ袋がカラスに荒らされる等して散乱したゴミを見かけ、清掃が入らずゴミが散乱したままのマンションもあり、まちの美化を進めるためにゴミ出し時のネット・カゴの使用を必須にしたほうがいいと思う。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、地域の安心・安全や生活環境の美化、ごみの散乱防止等に関するご懸念・ご提案として承ります。</p>
2-1	<p>資料編9ページ「福祉」について／生活保護受給データだけでなく、障がい者手帳登録者数や要介護3以上の認定者数なども掲載し、福祉の現状をより多面的に示してはどうか。これは本編19ページの「まちづくりに関する5つの課題」や36-37ページの「みんなでつながり・支え合うまちづくり」の検討材料にもなる。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、「東住吉区将来ビジョン(2026-2030)(案)資料編」に要介護者認定者数の推移等についての資料を追記します。</p>
2-2	<p>本編2ページ「東住吉区将来ビジョン」とはについて／東住吉区地域福祉計画(令和6~8年度)との関係の記載がなく、区民と一緒にまちづくりをすすめていくことが区役所の中心的な役割と考えると、区民の目に触れることの多い「将来ビジョン」と「地域福祉計画」との関係に記載してはどうか。</p>	<p>「東住吉区地域福祉計画」は、大阪市地域福祉基本計画で示された基本理念や基本目標に基づき、行政と区民や団体、事業者などの皆さんが地域福祉に関する取組を協働ですすめていくうえでの指針となるものです。区の施策展開は「東住吉区将来ビジョン(2026-2030)(案)」に基づくことから、「東住吉区地域福祉計画」に限らず、区が策定する様々な計画等についても、当然に方向性を同じくするものであるため、関係性は記載しておりません。</p>
2-3	<p>本編26ページ「SWOT分析から見る東住吉区」について／5年後の東住吉区がどのような姿になっていくのか、興味深く今後の展開をみていきたいと思う。なぜ「SWOT分析」という手法を取り入れたのか、広報紙「なでしこ」等で丁寧に説明する機会を作られてはどうかと提案する。</p>	<p>「東住吉区将来ビジョン(2026-2030)(案)」では、東住吉区がめざすべき将来像と将来像の実現に向けた目標を設定する必要があることから、現状と課題を整理する手法の一つとしてSWOT分析を活用しています。Strength(強み)／Weakness(弱み)／Opportunity(機会)／Threat(脅威)の観点で整理・可視化し、区政会議において東住吉区の特性や魅力、課題等について意見交換を行ってまいりました。なお、本回答を含む「東住吉区将来ビジョン2026-2030(案)」に対するご意見と東住吉区の考え方については、ホームページにおいて公表いたします。</p>
2-4	<p>本編36ページ「みんなでつながり・支え合うまちづくり」について／地域の困ったことについての相談窓口は、できるだけ重層的にあることが望ましいと思う。町会、民生委員・児童委員、ボランティア、地域福祉サポーター、地域活動協議会等が掲げられているが、さらに社会福祉協議会や地域包括支援センターやケアマネジャー、さまざまな福祉施設、医療機関や学校などの専門職の方々との連携も、できることから進められてはどうか。</p>	<p>「東住吉区将来ビジョン(2026-2030)(案)」では、地域としての区のめざすべき将来像を「誰もが、ずっと住みたくなるまち」と掲げています。将来像の実現に向けて、目標の1つとして「みんなでつながり・支え合うまちづくり」に取り組んでまいります。本ビジョンにおいて、「みんな」は住む、働く、学ぶなど東住吉区に関わる様々な人々、事業者、団体のことと捉えていますので、いただいたご意見につきましても、今後の取組を進めていく際の参考とさせていただきます。</p>
2-5	<p>本編40ページ「みんなが便利さを感じ続けられるまちづくり」について／「針中野駅・駒川中野駅周辺」「矢田駅周辺」等で、エリア活性化プロジェクトが進められている。まちづくりを考えていく際には、地域の一人住まいの高齢者や子どもたち、障がい者等の声が届きにくいことが想像でき、取り残されたような気持ちになりがちであり、色々な立場の方々の話をたくさん聞き、話し合いながら素敵なまちづくりを進めていってほしいと思う。</p>	<p>「東住吉区将来ビジョン(2026-2030)(案)」では、地域としての区のめざすべき将来像を「誰もが、ずっと住みたくなるまち」と掲げています。将来像の実現に向けて、目標の1つとして「みんなが便利さを感じ続けられるまちづくり」に取り組んでまいります。本ビジョンにおいて、「みんな」は住む、働く、学ぶなど東住吉区に関わる様々な人々、事業者、団体のことと捉えていますので、いただいたご意見につきましても、今後の取組を進めていく際の参考とさせていただきます。</p>